

ILP小委員会 2018年第1回委員会議事録

日時 2018年7月30日（月）午後16時00分～17時

場所 東京大学地震研究所 事務会議室B

出席者 石川正弘・石山達也・岩崎貴哉・松原 誠・中田節也・佐藤比呂志

議題

1. 出欠確認
2. 24期役員を選出 委員長・副委員長・幹事
3. IUGS分科会の報告
4. ILPの最近の動向について
5. 日本地球惑星科学連合2018年大会「日本列島の構造と進化: 島弧の形成から巨大地震サイクルまで」(2018年5月22日)開催報告
6. 2018年の活動方針について

1. 出欠確認 全員の出席を確認

2. 24期役員を選出について、以下の3名が選出され、承認された。

委員長 佐藤比呂志（東京大学地震研究所）

副委員長 石川正弘（横浜国立大学）

幹事 石山達也（東京大学地震研究所）

3. IUGS分科会の報告

中田節也委員（IUGS分科会委員）より、IUGS小委員会（第24期第一回）について説明があった。

4. ILPの最近の動向について

佐藤委員長より、ILP本部の最近の動向や、ヒマラヤのリソスフェアにおける地震活動・テクトニクスに関する新しい委員会設立の動き、ILPの今期プレジデントであるHans Thybo氏からILP運営メンバーになるよう要請があったこと、等が紹介された。

5. 日本地球惑星科学連合2018年大会「日本列島の構造と進化: 島弧の形成から巨大地震サイクルまで」(2018年5月22日) 開催報告

佐藤委員長より、日本地球惑星科学連合 2018 年大会において開催した「日本列島の構造と進化: 島弧の形成から巨大地震サイクルまで」(2018年5月22日) について報告があった。セッションでは、地質学・地球物理学的な観測をはじめとして様々な手法によって得られた日本列島の地殻・マントル構造を中心に、レオロジー・地質構造の形成プロセス・変動地形から測地学帯域に及ぶ幅広い時間帯域のテクトニクスについて、数値実験も含め総合的に議論した(口頭 12 件・ポスター 8 件、招待講演 2 件)。また、会場も盛況であったこと等が報告された。

6. 2018 年の活動方針について

2019 年度の日本地球惑星科学連合でも、今年度と同様に「日本列島の構造と進化: 島弧の形成から巨大地震サイクルまで」を開催すべく、10 月にセッション提案を行うこと、2020 年の AGU との合同開催時には英語セッションとして運営することが申し合わされた。国際シンポジウムを成功させると共に、成果を国際誌の特集号として出版準備を進めることが確認された。また、2019 年 EGU General Assembly (2019 年 4 月 7~12 日)で開催される予定の ILP 事務局会議に出席することが申し合わされた。

以上